

平岩米吉 ひらいわちや 犬科動物研究者、聯珠棋士。明治三十年十一月四日

東京龜戸生れ、昭和六十一年六月二十七日歿（八七—一九六六）。聯珠號

平岩麗山。府立第二中學校卒。初の短歌を作り、晩年に歌集『犬の歌』

（昭和五十七年刊）を出した。大正五年五月並べを改良して聯珠競技

を確立した高山互樂（黒岩淡香）から初段免状を受け、以後毎年段位

果進、昭和初年からは實戦で敵なしの實力となつた。著作も『銀月必勝

法』（大正十四年刊）等必勝法數點の他、『聯珠隨筆』（昭和五年刊）、

『近世將棋巨匠の手合』（昭和七年刊）がある。

昭和三年日本犬保存會の設立に參劃。五年長女由浅子の自由詩集『人

形の耳』出版、前年から始めの聯珠の雜誌編輯は十五年まで續けた。

六年雜誌『變態隨筆』、『母性』（のち『子供の詩・研究』と改題）

創刊、八年『科學と藝術』を創刊と、翌年六月『動物文學』と改題、

十年には『子供の詩・研究』も合併して以後主力となり、六十年十一

月第五十一巻第三號まで續いた。この間、動物文學會を設立主宰。ま

た『犬の生態』、『動物と共心』、『犬の行動と心理』等の他、『狼

—その生態と歴史—』（昭和五十六年七月二十五日動物文學會）も著は

した。平岩由浅子編著『狼と生きこ—父・平岩米吉の思ひ出』（平成

十年二月）二十六日築地書館株式会社

社）がある。



狼

—その生態と歴史—

平岩米吉著

犬科動物の研究者として、当代第一の著者が、数十年にわたり収集した正確な資料を、生態学の眼をもって描いた空前の書。

○本書は著者が、異種ほし多数の犬科動物を、じついに森邊において生息した状態が写っている。
○日本狼の歴史は日本犬の学名より先行して書かれたという著者の信念によって、あらゆる記録が収集されている。

発行・数研出版会、発行所：池田書店 1,800円